



## 『カウンターの仕事と本の修理』

## カウンターとは？

カウンターは、図書館の資料の「貸出・返却（へんきゃく）」をするところです。

昨年度の貸出数は、約72万冊！！ 貸出冊数7位 予約件数8位

（人口6万人以上8万人未満の市区 個人貸出数・予約数 図書館年鑑2021年より）

- 返却資料の確認
- 予約・リクエストの受付
- 資料の検索
- 調べもののお手伝い（レファレンス）
- 図書館の利用方法・館内案内
- データベースの受付
- コピーの受付
- 団体専用備品の貸出・返却

## カウンターに立つ前に

塩尻市立図書館は、利用する人、こまっている人の役に立つ図書館

来た人をイヤな気持ちにさせない、来てよかった、うれしい気持ちにする

- あいさつ、笑顔で親切、ていねいな対応
- どんな時も利用者さんのことを考えるのが大切
- 相手がうれしいと思うことをして、イヤなことをしない



あいさつはみんなで！



笑顔で向き合う



両手を使う

## 『図書館』はひみつを守る

## 『図書館の自由に関する宣言』

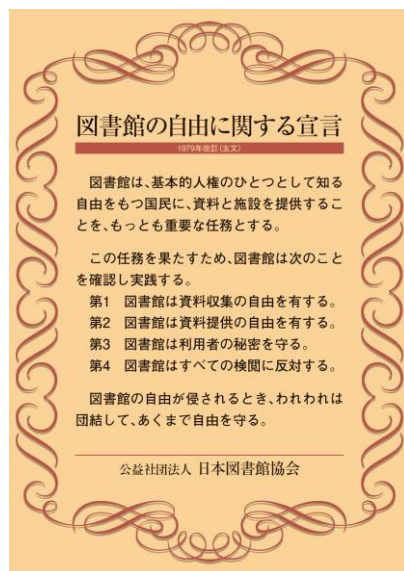
- 図書館は利用者を差別しない
- 図書館は利用者の秘密を守る

だれが何を借りたか、いつ図書館に来たか

どんな本が好きか、興味があるのか…

図書館で知ったことはすべて「ヒミツ」の一部

今日知った情報は家族や友達にも言わない



## 返却のやりかた

- ① 本を受け取る
- ② バーコード・資料の確認
- ③ 本をアンテナに置く
- ④ パソコンを使って読みこむ



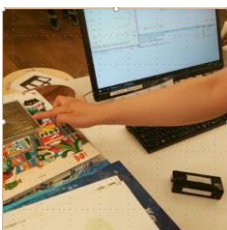
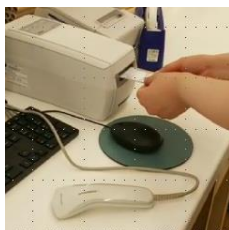
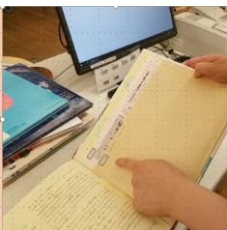
## 確認のやりかた

- ① 本の中を確認
- ② しおりひもをしまう
- ③ こわれている本は修理へ



## 貸出のやりかた

- ① 本とカードを受け取る
- ② バーコード・資料の確認
- ③ カードを機械に入れる
- ④ 本をアンテナに置く
- ⑤ パソコンを使って読み込む
- ⑥ 冊数を確認
- ⑥ 本とカードをわたす



## 「たのしむ」のが大事



- マスクをしているため声が聞こえにくいです。自分で思っているよりも、大きな声で話しましょう。
- カウンターでこまったことがあったら「少々おまちください」と言って司書にバトンタッチしましょう。
- カウンターでは、「図書館に来てくれてうれしい!」「お仕事が楽しい!」という気持ちが大事。

どんな時も、司書が一人ずつフォローします。  
キンチョウしすぎず、楽しんでお仕事をしてください。



## 本を修理する前に

修理とは「こわれたところを直す」ことです。

Q. どうして本を修理をするの？

A. 本の役割は、中に書かれている情報を読んでもらうことです。破れたり痛んだりして読めなくなると、その役割が果たせなくなってしまうからです



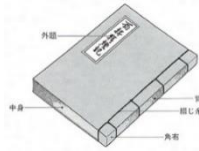
## 本のなりたち

本を修理するために、まずは本の歴史を振り返っていきます。

本のかたちは長い歴史の中で変わってきました。



巻物 700年頃



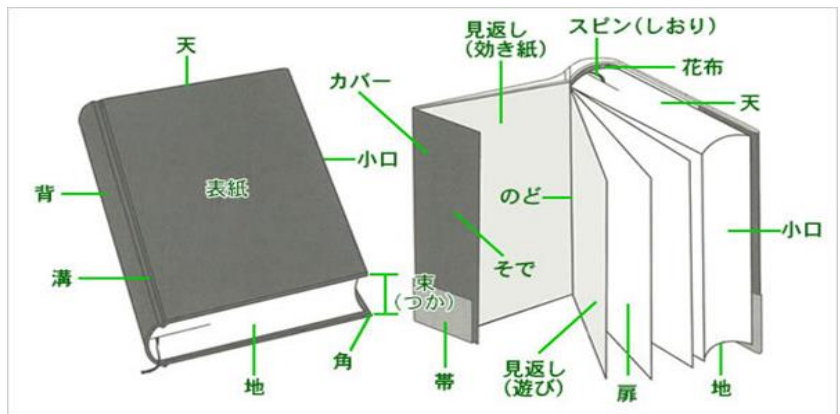
和本 1500年頃



洋式の本 1800年頃

現在の本はこんなふうにできています。

ページが固定されている「背」、本の表紙と中身をくっつけている「見返し」と「のど」の部分がこわれやすいです。



## 本を修理する

図書館の本を直すには専用ののりとテープを使います。背を糸でぬって直すこともあります。



家で自分の本を直すなら、専用ののりは木工用ボンドとアラビックのりを混ぜて代用できます。専用のテープの代わりに、メンディングテープを使うといいです。

※本の修理にセロテープは絶対に使いません！セロテープは時間がたつと傷むので、本を修理して長くはっておくことには向かないのです。

## 本を大切に

図書館の本はみんなのものです。利用者ひとりひとりがちょっとした気配りと工夫をすることで長く使うことができます。



## まとめ

★カウンターは、利用者が図書館に来た時最初にたずねる場所です。笑顔とあいさつを大切にしています。

★市民の財産である図書館の資料はたくさんの方が利用します。みんなが気持ちよく読めるように、大切に使おう！

## 本の紹介

『図書館のひみつ 本の分類から司書の仕事まで (楽しい調べ学習シリーズ)』

高田高史/監修 PHP研究所 (010/ピ)

『見たい!知りたい!図書館はうら側もすごい!』小田光宏/監修 WAVE出版 (010/オ)

『図書館のトリセツ』 福本友美子・江口絵理 講談社 (015/フ)

『図書委員アイデアブック』 吉岡裕子・村上恭子/監修 あかね書房 (017/ヨ)

『本のねきし5000年』 辻村 益朗 福音館書店 (020/ツ)

『本と図書館の歴史 ラクダの移動図書館から電子書籍まで』

モーリーン・サワ/文 西村書店 (010/サ)

『ほんはこうしてつくられる』

アリキ/作・絵 日本エディターズスクール出版部 (023/ブ)

『ゲーテンベルクのふしぎな機械』

ジェイムズ・ランフォード/作 あすなろ書房 (022/ラ)

『図書館を心から愛した男 アンドリュー・カーネギー物語』

アンドリュー・ラーセン/文 カティ・マレー/絵 六耀社 (289/カ)

『プロから学ぶ修理ずかん 1』 フレーベル館 (590/フ)

『図書館のための簡単な本の修理』

高岡容子/原案・監修 少年写真新聞社 (014.6/タ)

## 次回のおしらせ

次回のめざせ! 図書館マスターは、

8月7日(日) 「図書館マスターだよりを作ろう(講義&実習)」

時間: 10:00~12:00 会場: 多目的ホール

図書館で発行しているおたよりから「広報」の大切さを学ぼう。

持ち物: 好きな色ペン、筆記用具